

南砺市立福野小学校（5年生、父母と教師の会）

●実施状況(概要)

- ・福野小学校5年生の児童と父母と教師の会(PTA)が参加して、旧福野町安居地内の安居古堤で生き物調査を行いました。
- ・子どもたちは、ため池の底樋付近に集まり、タモ網でフナやタニシ、ヤゴのほか、特定外来生物のブラックバスやブルーギルなどを捕まえ、水槽に入れて眺めたり、図鑑で調べたりしていました。
- ・講師の先生から特定外来生物が日本に昔からいる生き物を食べつくし、私たちの河川や湖沼の環境を破壊している状況について説明を受け、特定外来生物を減らすことが大切だと実感していました。

場 所 : 南砺市安居地内
(農業用ため池「安居の古堤」)

実 施 日 : 平成24年9月23日(日曜日)

参 加 者 : 福野小学校 5年生 24人
教員 2人
父母と教師の会 22人
講師 他 21人

計 69人

活動内容: 生き物の採捕、観察、記録、
捕獲生物や農業用施設等の役割説明

捕獲生物: フナ、ドブガイ、タニシ、ヤゴ、トンボ、
カダヤシ、カメ
ブラックバス、ブルーギル



●参加児童の感想(抜粋)

5年生 女子児童

つりをしたいだけで、すんでいるばしょをかえて、魚の食物連鎖がなくなっている。

自分の意だけで魚をかってにはなしている人がわるいとおもう。魚がかわいそう。

5年生 男子児童

大きい魚はいたけど、小さな魚は少なかった。カエルの一びきぐらいいればいいのに、いませんでした。アメンボウも見当たらなかった。

ブルーギルやブラックバスを捨てるやつが悪いのに、ブルーギルやブラックバスがつかまえて、殺されるなんて、かわいそうだと思います。

5年生 女子児童

ため池には、大きい魚と小さい魚しかいなかったから、中くらいのがいないのかなと思いました。

ブラックバスは、たくさんつかまえても、またふえるから、おいだすのは、とてもむずかしいとおもいました。